

平成28年 3月 8日

松山河川国道事務所

**一般国道 56 号 伊予^{いよ}インター関連事業が
3月15日(火曜日)10時に全線開通^いします。**

松山河川国道事務所が事業を進めている、一般国道 56 号 伊予インター関連事業で、最後の2車線区間である伊予跨線橋(JR予讃線を跨ぐ橋梁)部分(延長0.3km)が4車線で開通します。

これにより、伊予インター関連事業は、全線4車線で開通することになります。

■今回開通する区間

○開通日時 平成28年 3月15日(火曜日) 10時

○開通延長 0.3km

※JR予讃線を跨ぐ伊予跨線橋部分

■全線開通する伊予インター関連事業の概要

○事業区間 自 : 愛媛県伊予市市場^{いちば}

至 : 愛媛県松前町筒井^{つつい}

○事業内容 延長6.4kmの4車線化事業

今回の4車線での開通により、ボトルネックが解消され、朝夕の通勤・通学時間帯や休日に発生する渋滞の緩和、交通事故の削減が期待されます。

本施策は、四国圏広域地方計画「NO. 5 圏域の連携による発展に向けた地域力向上プロジェクト」及び「NO. 6 防災力向上プロジェクト」の取り組みに該当します。

【問い合わせ先】

四国地方整備局 松山河川国道事務所

副所長(道路): 黒木 賢二郎(くろき けんじろう) (内線:205)

◎工務第二課長: 神前 巖 (かんざき いわお) (内線:411)

代表:089-972-0034

直通:089-972-0259

◎:主な問い合わせ先

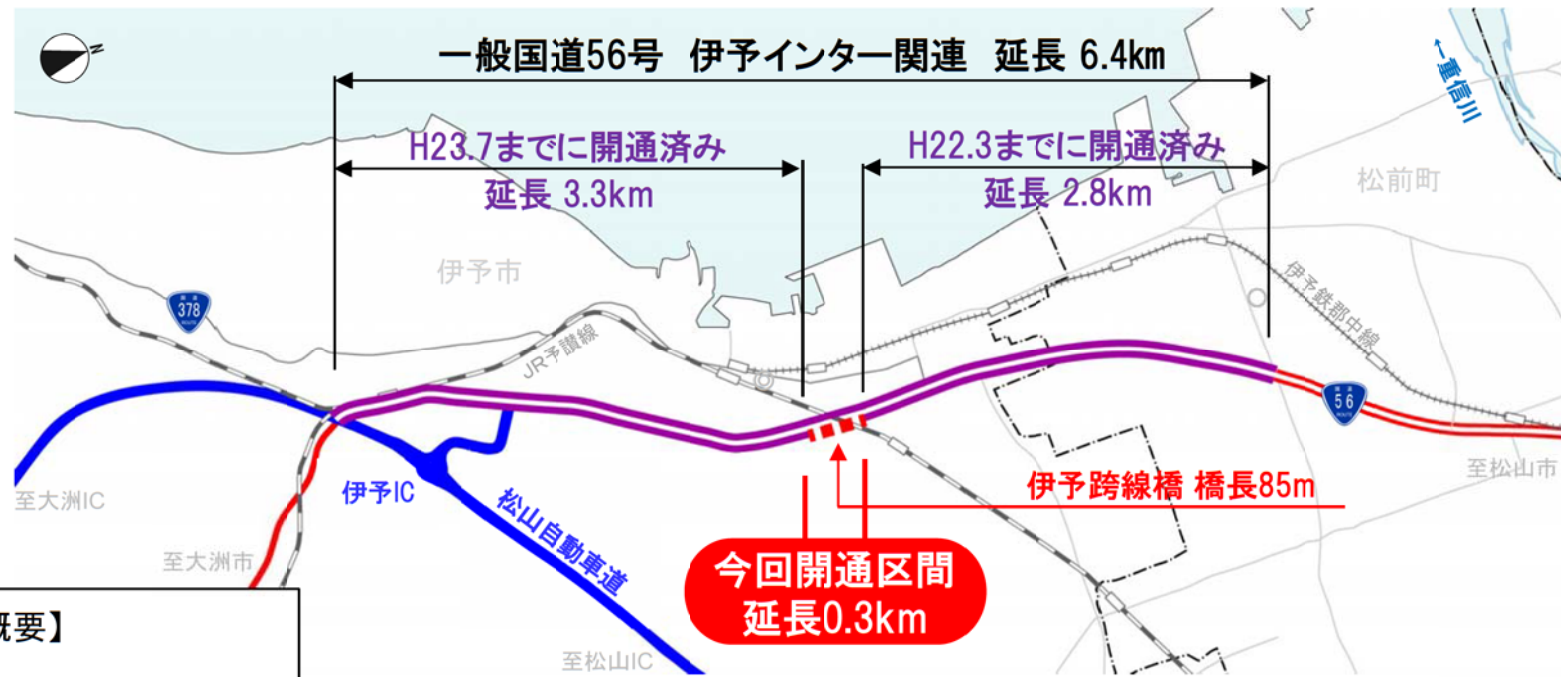
一般国道56号 伊予インター関連 事業概要

- ・ 一般国道56号 伊予インター関連事業は、伊予市市場から松前町筒井間における慢性的な交通渋滞の緩和、交通安全の確保を図るとともに、松山自動車道 伊予ICとのアクセス強化などを目的とする延長6.4kmの4車線化事業です。
- ・ 今回、最後の2車線区間である伊予跨線橋(JR予讃線を跨ぐ橋梁)部分(延長0.3km)が4車線が開通します。
- ・ これにより、伊予インター関連事業は、全線4車線が開通することになります。

■位置図



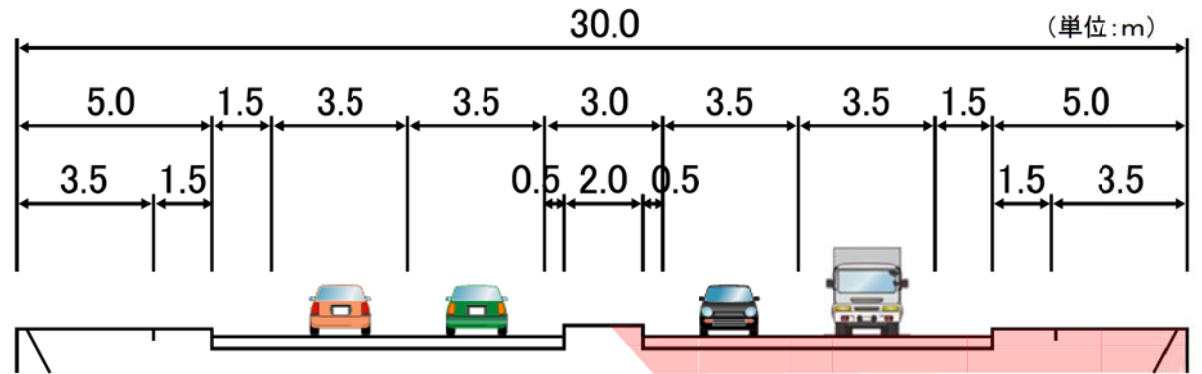
■平面図



【一般国道56号 伊予インター関連事業の概要】
 事業区間：自 愛媛県伊予市市場
 至 愛媛県松前町筒井
 事業延長：6.4km
 標準幅員：24.0m、30.0m
 事業経緯：事業化 平成4年度、用地着手 平成6年度
 工事着手 平成7年度

【今回開通区間の概要】
 開通区間：伊予跨線橋（JR予讃線を跨ぐ橋梁）部分
 開通延長：0.3km
 開通日：平成28年 3月15日（火）

■今回開通する区間の標準断面図(4車線化)



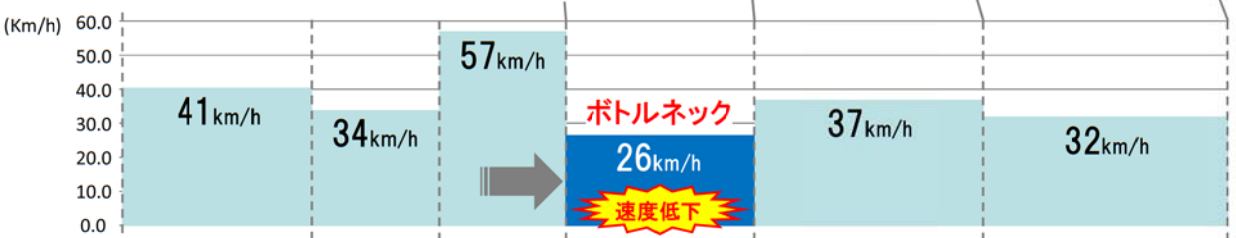
【今回の開通により期待される効果】 ボトルネックの解消による渋滞の緩和

- 最後の2車線区間である当該区間がボトルネックとなり、朝夕の通勤通学時間帯や休日に渋滞が頻発し、それに起因する交通事故も多く発生しています。
- 今回の4車線での開通により、**ボトルネックが解消**され、**渋滞の緩和**や**交通事故の削減**が期待されています。

＜ボトルネックによる渋滞の状況＞



▼混雑時の走行速度（平日・8時台・松山市方面）



▼混雑時の走行速度（休日・17時台・大洲市方面）



資料）民間プローブデータ（H27.5～H27.7）から算出

▼大洲市方面の渋滞状況【写真①】

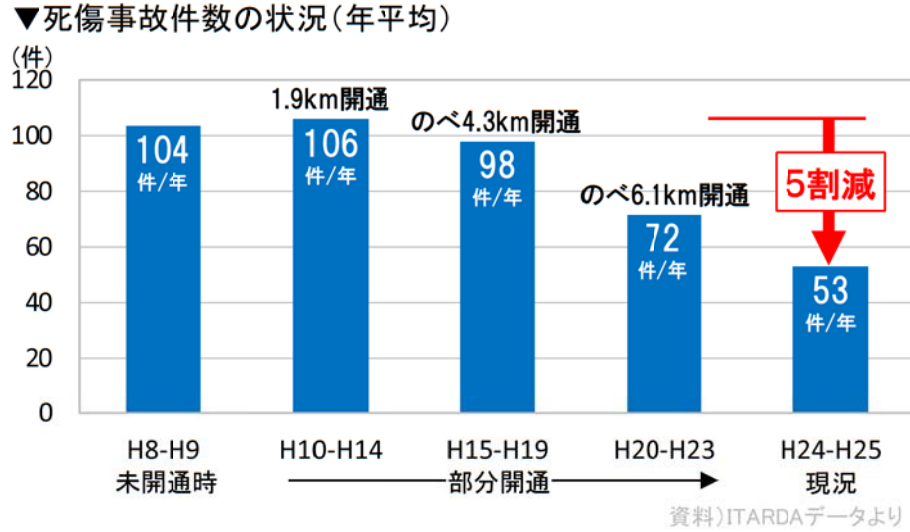


▼松山市方面の渋滞状況【写真②】



【全線開通による効果】渋滞の緩和、交通事故の削減及び通学生の安全・安心の向上

- ・伊予市から松前町においては、交通の集中により慢性的な渋滞が発生し、それに起因する交通事故也多発。道路幅員も狭く、通学生が自動車と輻輳するなど、危険な状態となっていました。
- ・4車線化の整備につれ、**渋滞が緩和し交通事故も削減**するとともに、**通学生の安全・安心が向上**しています。
- ・今回の全線開通により、**さらなる安全性・利便性の向上**が期待されています。



▼4車線化により渋滞が緩和
【整備前】



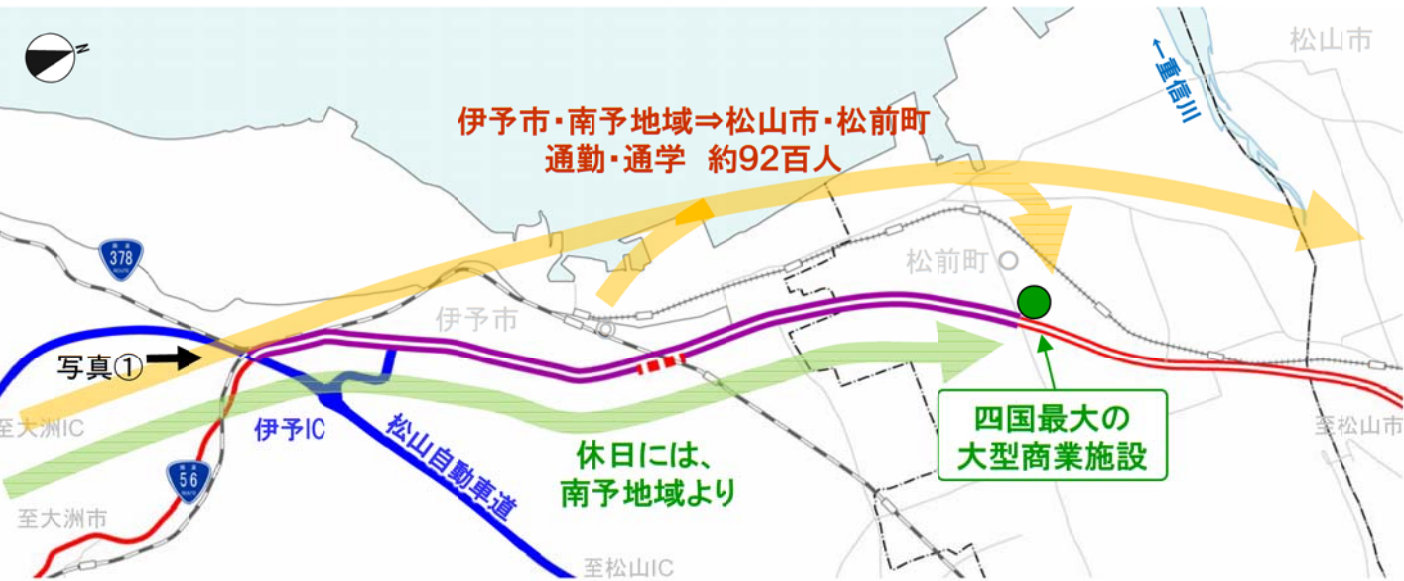
▼歩道の拡幅により通学生の安全・安心を確保
【整備前】



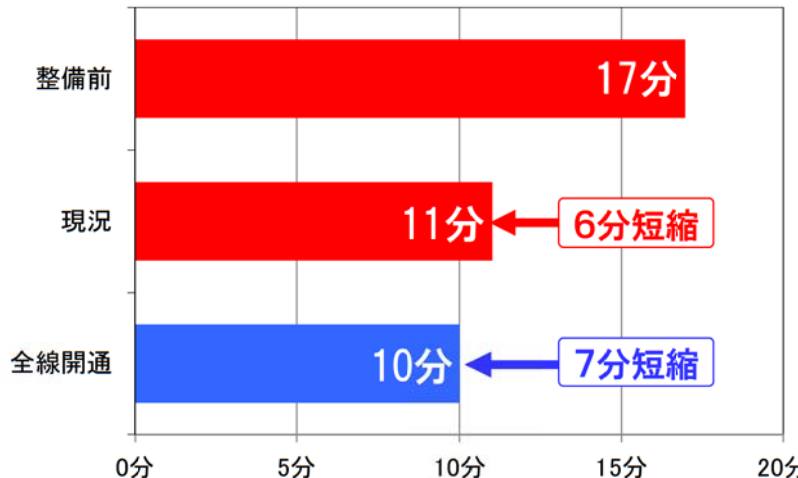
【全線開通による効果】日常生活における利便性の向上及び地域の活性化に寄与

- ・伊予市や南予地域の住民の多くは、通勤・通学や買い物などで松山市や松前町へ移動しています。特に、松前町に立地している四国最大の大型商業施設へは、南予地域からも多くの方が訪れています。
- ・4車線化の整備につれ、移動時間が短縮、伊予ICへのアクセスも向上し、日常生活における利便性が向上しています。
- ・今回の全線開通により、さらなる利便性の向上が図られ、交流人口の拡大による地域の活性化が期待されています。

<通勤・通学や買い物の状況>



▼伊予IC～松前町(終点部)までの所要時間



資料) 整備前は平成6～平成11年度の道路交通センサス
現況は平成22年度道路交通センサス
全線開通は平成22年度道路交通センサスを用いて算出

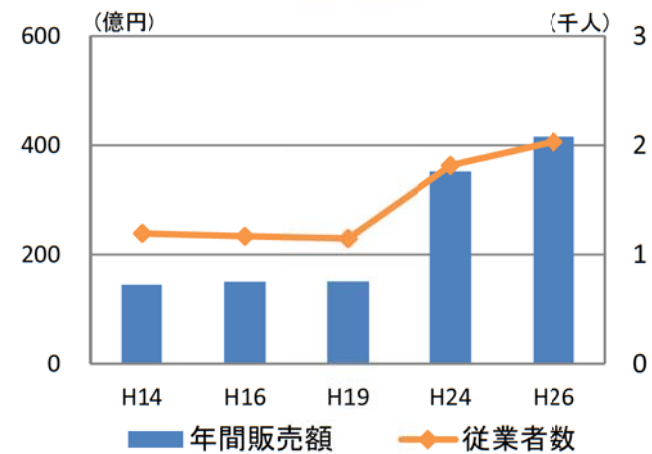
▼伊予IC【写真①】



▼松前町に立地している大型商業施設



▼松前町 小売業の販売額と従業員数



資料) H3～19: 商業統計調査、H24～26: 経済センサス